

清津川における川づくりに関する 第2回報告会を開催しました！

平成31年1月23日（水）に、湯沢砂防事務所は十日町市中里支所のご協力を得て「清津川における川づくりに関する第2回報告会」を開催しました。

本報告会は、清津峡の下流（十日町市小出、葎沢、角間地区）において現在計画している溪流保全工及び砂防堰堤の目的や構造について、現時点での検討結果を地域の皆様に報告するもので、平成28年12月に開催され、今回で2回目の開催となります。

当事業の目的は、近年河床が上昇傾向にあることや、平成25年の出水により人家間際まで土砂混じりの流水が及んでいることを踏まえ、災害リスクの軽減を図るべく大規模出水時に上流域において砂防堰堤が土砂を捕捉し、下流の溪流保全工でスムーズに流下させることとなります。

事業説明後、行われた質疑応答では、昭和初期発生した台風時の状況や長期的な河床変動状況等の貴重な情報提供や事業の内容について、鋭い意見、要望を頂きました。

当地区は、日本三大峡谷の一つである清津峡の直近であり、大地の芸術祭等で観光客が非常に多い地区であることを踏まえ、今回頂いた意見、要望を踏まえ環境面に留意し、更に詳細に設計する考えです。



日本三大峡谷清津峡状況



十日町市小出、葎沢、角間地区を上空より望む（平成30年6月撮影）



第2回報告会実施状況